

**①福島市民家園【集合/スタート/ゴール】**

園内には江戸時代中期から明治時代中期にかけての東北地方の古民家を中心に、芝居小屋、宿店、料亭、板倉などが移築復原され、当時のたたずまいが再現されています。また、昔の伝承行事を伝える年中行事の再現などの活動も見られます。



**②巨石広場と室石**

広場には周囲 80m にも達する室石と呼ばれる巨石があり、大黒天像や金毘羅天が祭られています。室石前には、錦鯉が泳ぐ2つの池があり、その周りにはソメイヨシノを始め36種類もの花木が植えられています。桜のシーズンには、ライトアップやかがり火による夜間演出なども行われ、心癒やされるお花見が楽しめます。(4月中旬)



巨石広場と室石

**ふくしまの民話**

**室石さま (荒川地区)**

ずうっと昔、法印さまが石むろさ住んでいた。ところが、いつのまにかいなくなり法印さまは人々から忘れらっちゃんだ。ある日ひょっこり法印さま戻って来たつ、顔が狐のようになっていたんで「石のむろの法印さまは狐だったんだ」とはやしたてられ、お祓いしてもらったつ、狐どころか法印さまもいなくなっちゃんだ。その法印さまが居らったところが巨石広場のずんねえ室石なんだどいさ。

採集 鐵 貞雄 (福島県民俗学会)

※「ずんねえ」は「大きい」の意味の方言です。あづま総合運動公園の巨石広場には、このような民話があったのですね。



**③義民太郎右衛門終焉之地**

農民の窮状を江戸幕府に直訴した左原村太郎右衛門は捕らえられて村へ護送され、荒田口で獄門に処せられました。その跡には「義民終焉地」の標柱が建っています。



義民太郎右衛門終焉の碑

**ふくしま de ふくしま通**  
ふくしま荒川ものがたり  
**2 民家園と義民の歴史に触れる**



**④伊達輝宗 (伊達政宗の父) の首塚**

伊達政宗の父伊達輝宗が天正 13 (1585) 年に安達郡高田原で戦死。その遺体は慈徳寺で火葬されました。輝宗首塚の言い伝えが、観音堂北の大岩 12 遺り五輪塔の一部があります。



伊達輝宗の首塚

**⑤慈徳寺の種まき桜 (天然記念物)**

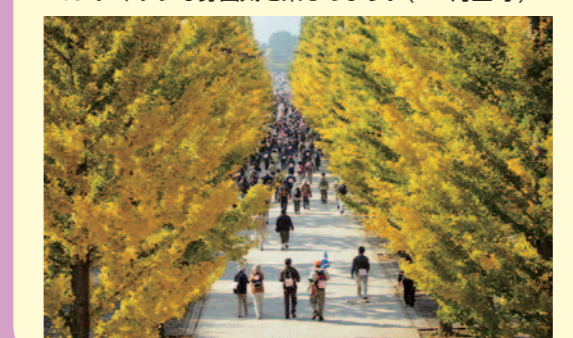
伊達輝宗を火葬した寺とされており、首塚と称される五輪の塔があります。境内のシダレ桜 (樹齢約 300 年) は、昔からその花の咲きははじめを種まき (稲) の目安としていたことから、種まき桜と呼ばれています。



慈徳寺の種まき桜

**⑦あづま総合運動公園のいちよう並木**

陸上競技場から西に伸びた約 500m の園路の両側には、116 本のいちようが植えられています。秋には黄金色に染まる郷愁の並木道となり、ライトアップ期間中はロマンティックな雰囲気を楽しめます。(11月上旬)



**⑧ヤマユリ群生地**

園内各所のアカマツ林内には、約 2 万株のヤマユリが自生しています。特にピクニック広場の北側には群生地が見られ、7月になると辺り一帯が甘い香りに包まれます。期間限定で行われるライトアップでは、夜光に浮かび上がるヤマユリの可憐な姿と幻想的な雰囲気を楽しむことができます。(7月中旬)

